

平成30年度 事業報告

社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

I 総括

1 地域福祉

岡谷市社会福祉協議会は、第3次地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の積極的な展開を基本に置きながら、岡谷市の地域福祉施策と連携・協力して、地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、総合相談、生活支援、小地域における住民主体による福祉活動の推進と支援、権利擁護の取り組みの強化、法人組織体制整備などを行ってきた。

また、岡谷市や地区社協と協力しながら、地域サポートセンターの体制整備、機能強化などの、ともに支え合う地域づくりに関わりながら、地域共生社会の実現に向けた住民参加、地域の各種団体との協働の取り組みの拡大、連携・協働のための地域のつながりの再構築、地域の中に社会資源を整えていくことなど、住民、地域の自主性を尊重しつつ、それぞれの地域が特性を活かし、主体的に取り組む地域福祉活動や目指す地域づくりの支援に取り組んできた。

2 介護保険・障害福祉サービス

社会福祉協議会の介護保険、障害福祉サービスは、幅広く地域福祉の推進に取り組む社会福祉協議会の特性を活かして、他の事業所が取り組みにくい複合課題を持つ利用者の積極的な受け入れを行ってきた。

様々な問題を抱える困難ケースが増え、セーフティネット機能が益々期待される中、当事業所の介護従事者においても介護技術はもちろんのこと、相談支援、地域資源の活用、権利擁護など他の制度や社協事業へ理解を深めるための研修を行うなど人材の育成や体制整備に力を入れてきた。

3 平成30年度重点事項

① 生活支援コーディネーター

前年度に引き続き、地域に出向いての意識啓発、意見交換を行った。あわせて地域での様々な活動の把握を行い、社協ホームページや岡谷市社会福祉大会でのパネル展示等で情報発信を行った。

また、今年度はじめて「地域活動いとぐち教室」「ふれあいいいききサロン交流会」を開催し、各地域での課題となっている担い手やボランティアの発掘、養成への足掛かりとした。

さらに、これからの活動展開をふまえ、地区社協とともに「地域アセスメント」の手法を学ぶとともに、地域資源の把握、活動発表の方法についても視察を行い情報を集めた。

② 地域サポートセンター

岡谷市が進める生活支援体制整備事業及び地域サポートセンター事業については、両事業を地域づくりの車輪の両輪として進めることとし、岡谷市との連携・協力の下、具体的な取組みについて協議、調整を重ねた。

また、今年度は岡谷市地域福祉ネットワーク会議を設置し学習会などを通し、改めてサポートセンターの運営について認識を深めた。

当面は、生活支援体制整備事業で地域に出向く中で、共通認識形成のための、岡谷市並びに地域に関わる情報を提供・共有する取り組みを継続していく。

③ 成年後見センター

平成31年4月1日の開所（開所式は4月3日）に向けて、運営体制（職員配置、予算確保、事務室改修工事、定款変更・規程及び要綱の作成等）の整備や行政との連携体制の確認等の準備を行った。

専門職団体とのネットワーク（協力支援体制）づくりとして、各団体の先生方との打合せのうえで、「開設準備打合せ会」を実施し、運営体制の確認と運営委員会の委員選定等を行った。

また、他地域のセンターとの連携を図るため、視察や打合せを行うとともに、職員のスキルアップを目的に各種研修会等へも積極的に参加した。

④ 法人運営

岡谷市社会福祉協議会は、地域福祉の推進役としての自主性を活かし、地域の期待に応える事業の展開とそのため組織構築に向けて、新規事業や居宅介護支援、訪問介護両事業所の人材確保、人材育成を中心に、中長期を見据えた体制強化に関わる諸課題の検討、調整を進めた。

II 岡谷市社会福祉協議会事業推進組織・役職員体制

(1) 役員

平成31年3月31日現在

理事会	事業推進執行機関	会長1名・副会長3名・常務理事1名・理事11名
監事	事業・会計監査	学識経験者1名・税理士1名
評議員会	議決機関	地域・各種団体代表等34名

(2) 職員

事務局長兼常務理事	1名	居宅介護支援事業所長・訪問介護事業所長
事務局	12名	正規8名・嘱託4名
居宅介護支援事業所	7名	ケアマネージャー(正規4名・嘱託3名)
訪問介護事業所	22名	ホームヘルパー(正規4名・嘱託1名・パート17名)
おかや総合福祉センター	9名	館長(嘱託1名)・事務員兼業務員(嘱託3名・臨時5名)
ひだまりの家	7名	所長(嘱託1名)・指導員(正規1名・嘱託1名・臨時4名)
生きがいづくりデイサービス	3名	援助員(臨時3名)
結婚相談所	1名	結婚相談員(臨時1名)
日常生活自立支援事業	6名	生活支援員(臨時6名)
合計	68名	

Ⅲ 主たる事業・会議等の開催

月	日	説 明	月	日	説 明	
4月	7日	手話奉仕員フォローアップ講座（全9回）	9月	12日	長野県福祉大会（塩尻市）	
	9日	手話奉仕員養成講座（全41回）		20日	正副会長会 共同募金説明会	
	18日	地区社協会長会監査会		21日	理事会	
	24日	定例正副会長会（月1回）		29日	ふれあいの集い（ぶどう狩り）	
	26日	地区社協役員研修会				
	26日	社会福祉推進校連絡会議				
	27日	諏訪ブロック社協局長・次長会議				
5月	10日	育児ファミリーサポートセンター 提供会員研修会（全6回）	10月	2日	共同募金運動開始（10/1～12/31）	
	14日	ハイツ温泉施設利用者200万人達成 記念イベント		10日	ブロック生活支援コーディネーター連絡会議	
	17日	社協・共同募金委員会 監査会		13日	高齢者クラブマレットゴルフ大会	
	18日	正副会長会		16日	ふれあい祭り&ボランティア祭り	
	23日	ブロック社協ボランティア担当者会議		18日	正副会長会	
	28日	高齢者クラブ連合会定期総会 理事会		27日	成年後見センター開設に向けた勉強会	
6月	1日	地区社協会長会総会	11月	13日	愛知県刈谷市視察受入	
	9日	KODOMO福祉クラブ開講式（全5回）		15日	鎌倉市腰越地区視察研修会（8/15～16）	
	13日	高齢者クラブカラオケ大会		19日	正副会長会 共同募金会審査委員会	
	14日	正副会長会 評議員会		21日	諏訪湖ハイツ秋の防災訓練 高齢者クラブ芸能祭	
	15日	諏訪ブロック社協総会（富士見町）	23日	諏訪ブロックボランティア研究集会		
	18日	理事会	12月	1日	出会の場創出事業・ハートリーフ 第1回	
	19日	障害者福祉推進実行委員会監査会		12日	岡谷市地域福祉ネットワーク会議	
	20日	諏訪湖ハイツ春の防災訓練 会費収納説明会 共同募金会審査委員会		18日	正副会長会 地区社協会長会研修会	
	26日	岡谷市障害者福祉推進実行委員会総会 共同募金運営委員会	21日	諏訪ブロック社協役員合同研修会		
	7月		社協会費収納開始（7/1～8/30）	1月	16日	高齢者クラブボウリング大会
		4日	サマーチャレんじ2018募集開始（～8/31）		22日	正副会長会
10日		サマーチャレンジ事前研修会	29日		理事会	
13日		岡谷市地域福祉ネットワーク会議 おかやボランティア連絡協議会研修会	2月		9日	出会の場創出事業・ハートリーフ 第2回
17日		正副会長会			16日	高齢者クラブ作品展（2/16～18）
18日		高齢者クラブ体育大会			19日	正副会長会
21日		岡谷市社会福祉大会（カノラホール）			21日	障がいについて理解するための学習会
25日	生きがいデイサービス ボランティアリーダー養成研修（全6回）	22日		ブロック社協局長・次長会議 地区社協会長会 市長懇談会		
		23日	出会の場創出事業 第3回			
		25日	岡谷市地域福祉ネットワーク会議学習会			
8月	2日	諏訪ブロック社協局長・次長会議	3月	6日	ブロック別事例検討会議	
	3日	KODOMO福祉クラブスタッフ会議		8日	ブロック生活支援コーディネーター連絡会議 共同募金会審査委員会	
	6日	生活福祉資金特例貸付被災地応援派遣 広島県（8/6～8/10）		11日	ブロック社協ボランティア担当者会議 ふれあいいきいきサロン交流会	
	14日	太鼓まつり ふれあいおどり連		19日	正副会長会	
	21日	正副会長会		23日	おかやボランティア連絡協議会総会・ セミナー	
	29日	朗読講座（全5回）		26日	理事会・評議員会	
31日	地区社協会長会研修会					
9月	2日	岡谷市防災訓練	【その他定例会議/毎月】			
	5日	こどもの居場所やこども食堂について 学ぶ学習会	おかやボランティア連絡協議会定例会 高齢者クラブ三役会・理事会			
	7日	ふれあい祭り&ボランティア祭り 説明会	生きがいデイサービス援助員会議 事務局ミーティング			

IV 事業の実施報告

第3次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりました。計画に掲げた4つの基本目標に沿って実施した事業の報告をいたします。

基本目標1 地域福祉活動の輪を広げる

(1) 福祉意識の普及

様々な事業を通じ、また各種媒体を活用し、市内全体に福祉意識を広げた。

① 岡谷市社会福祉大会の開催 7月21日(土) カノラホール大ホール 約500名参加

内 容	楽 団 「ケ・セラ」コンサート	
表 彰	市社協会会長表彰	社会福祉事業特別功労者 3個人
		社会福祉事業協助者 1個人
	褒 賞	15個人
	感謝状	2個人・6団体
	共同募金会岡谷市支会会長表彰	
	感謝状	9団体

講演の部では、障がいを持った方々のコンサートを通し、音楽を楽しむ姿や真剣に取り組む姿から、ともに支え合うことの大切さを感じることができ、地域共生社会の実現に向けた意識啓発としてふさわしい内容となった。また、地域のサロン活動を紹介するパネル展示や来場者に大会に対するアンケートや大会宣言の実施など初めての試みを多く取り入れた大会となった。

② 社協だより「ゆめ」の発行 年12回・全戸配布

事業、活動、福祉情報、ボランティア情報等掲載し市民に発信した。

③ 地区社協だよりの発行 17地区

地域住民に地区社協活動を周知、理解協力及び福祉活動への参加促進を図った。

④ 福祉教材の貸出

高齢者疑似体験セット	岡谷工業高校・平成会
車いす	湊小学校
点字器	上の原小学校・湊小学校・長地小学校
アイマスク	湊小学校

学校等に福祉体験用として、各教材の貸出しを行った。

⑤ 各種体験学習会、福祉学習会の開催

福祉学習会	岡谷東高校・小井川小学校
点字体験	長地小学校・川岸小学校

学校等に講師として出向き、各種体験学習会を行った。

また地域のゲストティーチャーとして、ろうあ者講師の紹介を行った。

⑥ KODOMO福祉クラブの開催 5回シリーズ 参加者11名

参加者の減少に伴い、名称、内容ともリニューアルし募集をかけたが参加人数は少なく、当初年8回で予定していた活動を5回に変更しての開催となった。

長年かかわっていただいたスタッフの皆さんとの話し合いの結果、家庭環境の変化等の影響による参加者の減少や地域での子ども支援の活性化に伴い、事業としての一定の役割は終了ということで、平成8年から「こども福祉教室」としてはじまった本事業を今年度をもち終了することとなった。

⑦ 社会福祉推進校事業の推進

小中高14校(全校)を社会福祉推進校に指定し、福祉教育活動への助言指導とともに、活動費の助成を行った。教育委員会との意見交換や校長会へ出席し、学校現場との協力関係の構築に努めた。

⑧ ボランティア活動体験事業 サマーちゃれんじ2018

実施期間	平成30年7月23日(月)～8月31日(金)
参加者	中学生71名・高校生0名・大学生・専門学校生14名・一般2名 (合計87名)
実施施設	保育園(14) 高齢者施設等(2) 子育て支援館(1) 生きがいデイサービス(2)

7月から8月の間に市内の各会場で、学生から社会人まで多くの方がボランティア体験をしていく中で、ボランティアへの関心をさらに深め、今後の活動へのステップとすることを目的として開催した。活動終了後、参加者には「ふりかえりシート」を提出してもらった。中学生については「ふりかえりシート」を9月末で取りまとめ各中学校にお送りし、生徒の活動の様子を知っていただく機会とした。

⑨ 親子福祉体験事業 (KODOMO福祉クラブ内で2回実施)

1回目は、「募金」と「使用済み切手」がどのようなことに役立てられているのかを親子で学んだ。2回目は、ふれあいの集い(ぶどう狩り)に親子で参加してもらい、障がいのあるなしにかかわらず、また、世代を超えて多くの人たちとの交流を図った。

⑩ こどもの居場所・こども食堂

学習会	岡谷市の「こどもの居場所」や「こども食堂」について話そう ～こども食堂「だるまこども食堂」に学ぶ～		
日時	9月5日(水)	午後6時30分	場所 諏訪湖ハイツ大会議室 参加者 45名
内容	「岡谷で子ども食堂を真剣に考える会」代表 吉田 浩氏より「だるま子ども食堂」の現状や課題についての話をお聞きし、6グループに分かれて意見交換を行う。		

岡谷でこども食堂を真剣に考える会や諏訪圏域こども応援プラットホームの研修会に参加し、実際に運営されているこども食堂を見学や運営のノウハウなど事例研究を進めた。
また、学習会ではこども食堂を主催されている方を講師に学習会を開催し、こどもの支援に関心のある方に参加いただき、意見交換した。

(2) ボランティア活動への支援

ボランティア登録者数	総数	3,310名
内訳	全市民的ボランティアグループ	48グループ 3,266名
	企業ボランティアグループ	2グループ 17名
	個人ボランティア	27名

① ボランティア連絡協議会との連携強化 加入 団体20・個人16名

ボランティア同士のつながりを更に深めることができ、ふれあい祭りや様々な活動につなげることができた。
また、社協行事にも積極的に協力していただき、ありがたく感謝している。今後も更なる連携強化をしていきたい。

② ボランティアコーディネート機能の充実・強化

各地区、市内外福祉施設へのボランティア紹介 コーディネート件数 41件
ボランティア希望者への情報提供
同行訪問によるボランティアの紹介、対応
ボランティアセンター管理、整備 利用状況：19団体・個人 320回 2,367人

③ ボランティア保険の普及、加入 加入者総数 1,675名

保険内容	加入者数	保険内容	加入者数
A7°ラ(社協補助あり)	1,286人	A7°ラ(災害社協負担分)	2人
A7°ラ(全額自己負担)	241人	天災A7°ラ《災害ボランティア》(社協負担)	6人
A7°ラ(サマーちゃれんじ分)	85人	天災A7°ラ《災害ボランティア》(全額負担)	55人

④ 朗読講座の開催 5回シリーズ 参加者6名

⑤ ボランティア祭りの開催

ボランティア祭り&ふれあい祭り		
日 時	10月13日(土)	場 所 諏訪湖ハイツ 参加者 約600人
内 容	ボランティア団体・障がい者団体による活動発表・活動展示 市内施設・団体による作品等販売等	

ふれあい祭りと同時開催。多くのボランティアにご協力いただき、盛大に開催することができた。年々来場者、新たに参加していただく団体も増えており、定着した行事となっている。

⑥ 地域活動いとぐち教室の開催 10月30日～12月18日 (5回シリーズ)

第1回	「ボランティアって何？」	17名参加
第2回	「先輩に聞こう 仲間との活動」	17名参加
第3回	「先輩に聞こう サロンの活動」	17名参加
第4回	「空いた時間にできる 助け合い活動」	26名参加
第5回	「コーヒーを入れて茶話活動」	17名参加

「何かしたい」方へ「自分の出来ること」のきっかけづくりとして、ボランティア養成講座をカルチャーセンターと協働して開催。

実際に地域で活動している方を講師に迎え、生の声を伝えた。「いろいろな活動をしたことができた・もっと多くの人にも体験してほしい」など意見をいただくなど満足度の高い教室となった。

(3) 地区社協への支援

① 地区社会福祉協議会の充実と活動の推進

- ・地域に出向き、情報提供、意見交換等を行い、地区社会福祉協議会の活動を支援した。
 - 4/10 橋原地区社協理事会、5/9 横川地区社協福祉推進会議、
 - 5/18 岡谷地区社協理事・評議員合同会議、5/25 小坂地区社協福祉推進会議
 - 6/8 小口地区社協福祉推進会議、6/15 六カ地区社協役員研修会
 - 10/19 中屋地区社協、11/20 間下地区社協、12/4 岡谷地区社協、
- ・地区社協会長会では、「地域アセスメント(地域診断)」をテーマに懇談会でグループワークを実施した。

8/31 「地域の宝物見つめませんか？」

12/18 「自分たちの地域で地域アセスメントをするならこんな活動ならできそう」

「サポートセンターとの繋がりで取り組めそうなこと」

地域アセスメントについては、自分たちの地域を知ることやニーズに応じた活動への展開にもつながる取り組みでもあるため引き続き学びを深め、取り組みたい意向のある地域については活動を応援できる体制を整えたい。

② 地区福祉ニーズ対応事業(福祉推進員設置事業) 福祉推進員総数 328名

今井23名・間下22名・岡谷20名・下浜12名・小尾口6名・上浜18名・新屋敷13名・小口17名
小井川28名・西堀16名・小坂8名・花岡18名・三沢31名・新倉12名・駒沢5名・鮎沢5名
橋原6名・東堀30名・中屋18名・中村5名・横川15名

③ 地区地域課題検討会議(旧 地域福祉推進会議) 各地区社会福祉協議会で開催 13回

引き続き、住民同士で地域のことについての話し合いが重ねていかれるよう、会議の名称の変更、記入しやすい様式に変更し、会議の開催を推進していく。

④ 地区社協会長等視察研修 平成30年11月15日・16日 神奈川県鎌倉市腰越地区社会福祉協議会

地区社協会長等21名の参加をいただき、地域アセスメントを実施するまでの経緯、腰越地区社協・西鎌倉地区社協の地域アセスメントの取り組み状況、今後の課題等についてお話を伺うことができた。

⑤ 地区社協役員研修会の開催 4月24日 諏訪湖ハイツ大会議室

各地区社協役員対象に、岡谷市が目指す地域福祉についての話や地域福祉活動振興補助事業の説明を行った。

⑥ 地域福祉活動振興補助事業

地区社協で行う各事業に補助を行い、地域福祉活動の振興を図った。

(4) 社会参加への支援

① 地区主催「敬老事業」への助成

地区で行う敬老会事業に対し補助を行う

② 岡谷市高齢者クラブ連合会への支援

カラオケ大会、体育大会、マレットゴルフ大会、芸能祭、ボウリング大会、作品展など数多くの行事を事務局として無事にサポートすることができた。

また、今年度新たな試みとして市内企業などから広告料のご協力をいただき、クラブの会報誌を創刊することができた。隣組にて全市回覧を行うなど、クラブの活動をPRするとともに会員勧誘などに利用し、会員増強への足掛かりにしていきたい。

③ 障がい者地域生活支援事業等（市受託事業）

ア 手話通訳者設置

窓口での相談等	20回	市関係行事での通訳	5回
---------	-----	-----------	----

イ 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣	23件	60.75時間(講演会等)	通訳者数	9名
要約筆記者派遣	4件	16.50時間(講演会等)	通訳者数	7名

ウ 6市町村手話奉仕員養成講座 41回シリーズ

諏訪6市町村の方対象として開催 入門課程(18回)修了者 1名 全課程修了者 18名
講座修了者の中から、通訳者を目指す方もおり、聴覚障害者への理解に成果が見られた。

エ 手話奉仕員フォローアップ講座の開催 前期 5回 参加者 14名
後期 4回 参加者 12名

奉仕員養成講座修了者以上の方のレベルアップを図ることを目的に開催。県主催の通訳者養成講座へつなげている。

オ 手話通訳者フォローアップ講座の開催 3回シリーズ 参加者 5名

カ 声の広報発行事業 12回発行 10世帯利用

④ 岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉推進

福祉バザー、ふれあいの集い、ふれあい祭り、障がいを理解するための学習会の開催、岡谷太鼓祭り踊り連に参加。

福祉バザーをはじめ多くの市民の方々にご協力をいただいているが、当事者や関係者だけが参加する行事になってしまわないよう、内容や広報の仕方など工夫が必要と考えている。

(5) 福祉施設運営サービスの充実

① おかや総合福祉センター管理経営事業（市指定管理事業）

開館日数	温泉施設	302日	月平均	25.17日
	生涯学習施設	344日	月平均	28.67日
開館時間	温泉施設	10時～21時30分		
	生涯学習施設	9時～21時30分		
休館日	温泉施設	毎週水曜日		
	生涯学習施設	毎月第3水曜日		

入館者数	有料入館者	温泉施設	103,587名	(前年比 13,797名減)
		大浴場	88,091名	(前年比 13,509名減)
		リハビリ施設	13,244名	(前年比 174名減)
		福祉家族風呂	989件	2,252名 (前年比 57件減)
		生涯学習施設	7,591団体	78,534名 (前年比 104団体増)
	無料入館者	大浴場	16,689名	(前年比 839名減)
		生涯学習施設	1,774団体	27,612名 (前年比 4団体増)
		足湯	57,608名	
		ロビー・ヘルストロン等	93,717名	

福祉施設としての大浴場、福祉風呂、温泉リハビリ施設の衛生管理を徹底するとともに、生涯学習施設としての研修室についても適正に管理した。また、ロビー、プレイルーム、芝庭、足湯などは、こどもから高齢者まで、誰もが集い、憩い交流のすることができるコミュニティスペースを目指しながら、利用促進に努めた。

年間の施設利用者は、前年度比5.5%減、収入は3.4%減であり、施設別では、温泉施設利用者は10.8%減、収入は4.3%減、生涯学習施設利用者は2.2%減、収入は1.0%減であった。

今年度は受電設備、昇温ボイラー等の更新工事が行われ、無事終了することができたが、工事に当り、特に温泉施設は、休業したため、前年度に比べ6日間営業日数が少なかった。

② 地域活動支援センター「ひだまりの家」管理運営事業（市受託事業）

開所日時	週5日(月～金)	9:00～15:00
開所日数	243日	
定員	10名	
延べ年間通所者数	748名 (昨年と比べ437名減)	
1日平均通所者数	3.1名 (昨年と比べ1.7名減)	
年間在籍通所者実数	15名 (男性 1名 女性14名)	
30年度新規通所者	3名 (男性 1名 女性2名)	
30年度通所希望見学者	7名 延べ体験日数15日	
行事等	ひだまり作業所と同時開催	

前年度に比べ、延べ通所者数が大幅に減少しているが、主な理由として一般就労された利用者2名、障がい者枠で就労された利用者1名によるもので、確実に利用者のステップアップにつながってきており、事業所として果たす役割も重要になってきている。今後も出来るだけ多くの方に利用してもらいたいと考えているが、スペースの問題など利用環境の検討も必要である。

(6) 福祉活動の基盤整備

① 岡谷市生活支援体制整備事業（地域支援コーディネーター）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 区、地区社協、地域活動等への訪問 計40回 ・ 生活支援体制整備事業についての岡谷市との打合せ会議 計12回 ・ 岡谷市地域福祉ネットワーク会議 (7/13、12/12、2/28) ・ 活動報告会 7/21岡谷市社会福祉大会でのパネル展示、8/21サービス事業者連絡会 ・ 諏訪ブロック生活支援コーディネーター連絡会 (10/2、3/8) ・ 研修会等への参加 計6回

② 地域サポートセンター設置促進体制整備事業

主体である岡谷市と共に打ち合わせを重ねる中でネットワーク会議の開催を行うことができた。また、社会福祉課・介護福祉課と共に担当地区を設け地区に出向いて意向の聞き取りなどを行った。今後も生活支援体制整備事業と一体となって進めて行く。

基本目標 2 福祉サービスの利用を促進する

(1) 情報提供の充実

① ホームページ、フェイスブックによる情報掲載

フェイスブックを利用し、情報発信の強化を図った。

(2) サービスの提供

① 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託事業）

相談件数	認知症高齢者 1,289件	知的障害者 1,170件	精神障害者 1,692件	合計 4,151件	
本年度契約件数	7名	本年度解約件数	8名	本年度実利用者数	84名
内(生活保護)	1名	内(生活保護)	1名	内(生活保護)	16名
内(下諏訪町)	0名	内(下諏訪町)	1名	内(下諏訪町)	1名
事業開始からの契約件数	275名	事業開始からの解約件数	191名		
専門員の訪問調査回数	延べ184回（対象者58名）				
生活支援員等の利用援助回数	延べ4,151回（対象者80名）				

相談件数、契約件数共に増加傾向にある。内容としては、世帯ごとの支援が必要なケースや課題が複雑かつ困難なケースが増えてきている。本事業の対応だけでは解決できないケースも多いため、行政・関係機関との連携強化を図り対応していく必要がある。

数年以内に成年後見制度の利用が必要となる可能性のあるケースが多くなってきているため、成年後見制度へのスムーズな移行が課題である。

② 金銭管理、財産保全サービス事業の推進（市社協単独事業）

契約件数	解約件数	実利用者数
2名	2名	10名

③ 岡谷市成年後見支援センター開所準備

「成年後見制度」に関する相談 延べ41件 【主な会議・打合せ・研修等】
・専門職との打合せ 計8回
・センター開設に向けた岡谷市との打合せ会議（随時実施）
・岡谷市役所 庁内会議及び理事者への説明（10/9、10/23）
・他センター視察、打合せ（市職員も同行）計3回 ・「成年後見制度」「後見センター」に関連した研修会、会議等への参加 計11回
・10/18「センター開設に向けた職員勉強会」の開催（市と社協共同にて）
・1/31「岡谷市成年後見センター開設準備打合せ会」の開催（岡谷市役所にて。専門職、社協、市の関係者 計21名出席）

(3) 福祉の相談窓口の充実

① 福祉総合相談

職員が相談員として様々な相談を受け付け、相談窓口の入口として、適切な関係機関、サービス等につなげることにより、生活の援助に努めた。

② 心配ごと相談事業・ふれあいおしゃべり電話

定例相談日数	247日	(毎週 月～金曜日)	8:30～17:15														
相談員	社協職員																
利用者数	10名	(男性1名・女性9名)															
取扱件数	35件																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	教育・青少年	福祉	苦情	その他	計
取扱件数	1	1	1	1	4	0	0	4	6	0	1	0	1	10	0	5	35
処理状況	解決		1	1	2			2	4					6			16
	再来	1		1	1				2					1		2	8
	民生委員																0
	他機関					1			2		1		1	2			7
その他														1		3	4

③ 結婚相談事業

99日開所		毎週火曜日、第1・3土曜日、第2・4木曜日(夜間相談日)				前年比
平均相談数		火曜日	木曜日	土曜日	1日あたり	
内訳	男性	0.2	0.5	1.0	0.7	0.3名減
	女性	0.2	0.7	0.3	0.5	0.2名減
	親族	0.6	0.0	0.2	0.2	0.2名増
合計		1.0	1.2	1.5	1.5	0.4名減
相談者数(来所者)		男性(本人) 43名			計 108名	39名減
		女性(本人) 31名				
		親・親族等 34名				
電話対応		360件				
登録者数(3/31現在)		男性 31名			計 48名	19名減
		女性 17名				
お見合い件数		16件	カップル成立		2組	1組減

他の相談所とも連携しながら積極的にお見合いを進めており、お見合い件数は増加しているが、なかなか成果が表れてこない現状である。

また相談者、登録者が減少傾向にあるため相談日や相談員の体制などについても改めて検討していく必要がある。

④ ながの結婚マッチングシステム

システム登録者数(3/31現在)	男性	2名	マッチング依頼件数	25件	システムによるお見合い件数	0件
	女性	1名				

現在相談員1名の体制で行っているため、事務局職員が対応している状況である。しかしながら専門的に登録者へのアプローチが出来ていないこともあり、現在はマッチングシステムへの登録をお断りしている状況であり、相談所の体制とともに今後の検討課題である。

⑤ ハートリーフ事業

開催日	場所・内容	参加者	カップル成立
平成30年12月1日(土)	おかやがぶ飲みワイン食堂EiEiOh 25歳～40歳対象 合コン形式	男性 8名	1組
		女性 7名	
平成31年2月9日(土)	スポーツカフェ イレブン 25歳～45歳対象 合コン形式	男性 7名	0組
		女性 7名	

飲み会形式のパーティーが好評のため今年度も企画した。会場の盛り上がりなどが大変うまくいった印象だが、男性の積極性が足りなかったためか、カップル成立は2回で1組という結果に終わってしまった。

依然として女性参加者の確保は難しく、開催に至るまでが非常に困難である。

今後の開催にあたっては参加男性に対して何かしらのアプローチが必要ではないかと感じている。

⑥ 出合いの場創出事業

開催日	場所・内容	参加者
平成30年12月1日(土)	内容 ワイン基礎講座 講師 (株)Felice 代表 降旗 裕也氏 場所 おかやがぶ飲みワイン食堂 EiEiOh 対象者 25歳～概ね40歳対象	男性 8名
		女性 7名
平成31年2月9日(土)	内容 エステ&メイク体験 講師 メナード化粧品 小口 京子氏 場所 スポーツカフェ イレブン 対象者 25歳～45歳未婚女性対象	女性 5名
平成31年2月23日(土)	内容 初対面でも分かり合える対話力 講師 対話力育成コーチ 武つぐとし氏 場所 カルチャーセンター 対象者 20歳～概ね40歳未婚男女対象	男性 4名
		女性 2名

県の補助事業として今年度初めて開催した。勤労者サービスセンターとの共催事業で年6回という回数もあり、開催日の設定や開催内容に大変苦慮したが、市内の飲食店の協力やカルチャーセンターとの共催をいただき内容的には成果が得られたと感じている。

基本目標3 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるようにする

(1) 高齢者・障がい者在宅サービスの充実

① 生きがいデイサービス事業（市受託事業）

援助員81名（内訳 地区活動援助員 77名 市社協援助員 4名） ※平成29年度援助員90名
地区活動援助員77名（内訳 今井区11名・間下区15名・岡谷区12名・小尾口区 1名・西堀区10名
駒沢区 4名・橋原区 6名・中村区 5名・小口区 1名・三沢区 2名・東堀区 4名・小井川区 6名

名称	会場	参加人員	グループ数	延回数
いきいきデイいまい	今井区公会所 今井区民センター	29名(男8名・女21名)	3グループ	72回
いきいきデイ間下	間下区民センター	43名(男0名・女43名)	5グループ	120回
いきいきデイおかや	岡谷区公会所	38名(男1名・女37名)	3グループ	71回
すこやかデイ下浜	下浜区民センター	5名(男0名・女 5名)	1グループ	24回
いきいきデイ小尾口	小尾口区公民館	7名(男0名・女 7名)	1グループ	24回
いきいきデイ上浜	上浜公民館	13名(男0名・女13名)	2グループ	48回
いきいきデイあらやしき	新屋敷会館	18名(男4名・女14名)	2グループ	49回
いきいきデイおぐち	小口区民センター	19名(男0名・女19名)	2グループ	48回
いきいきデイ小井川	小井川区民会館	55名(男2名・女53名)	5グループ	120回
いきいきデイ西堀	西堀公会所	196名(男54名・女142名)	18グループ	429回
ふれあいプラザみなと	ふれあいプラザみなと	15名(男0名・女15名)	2グループ	48回
いきいきデイつるみね	三沢区コミュニティ施設	15名(男0名・女15名)	2グループ	48回
いきいきデイ新倉	川岸公民館 夏明公会所	27名(男1名・女26名)	3グループ	73回
いきいきデイ駒沢	駒沢区公民館 荻山会館	17名(男0名・女17名)	2グループ	48回
いきいきデイ鮎沢	鮎沢区公民館	9名(男2名・女7名)	1グループ	24回
いきいきデイ橋原	橋原公会所	8名(男2名・女6名)	1グループ	24回
いきいきデイしばみや	柴宮館 東堀コミュニティ会館	59名(男31名・女28名)	4グループ	93回
いきいきデイ中村	中村区民センター	26名(男0名・女26名)	3グループ	72回
いきいきデイ横川	横川公会堂	26名(男0名・女26名)	3グループ	72回

6回シリーズでボランティアリーダー養成研修を行い、受講された方の中から、6名の方が、新たに地区活動援助員となった。また、下浜区では地区活動援助員をやってみようという動きがあり、区長さん、ボランティアさんと連携し、地区活動援助員への切り替えに向けて支援を行い、平成31年4月から地区援助員による活動が開始されている。

生きがいデイサービスで利用している遊具などについても、要望があれば市内の施設や高齢者クラブ、地域のサロンなどに貸出も行うなど有効に活用している。

② まゆっこサポート（住民参加型有償在宅福祉サービス事業）

家事援助サービス	登録協力会員	登録利用会員	年間実利用者数	総利用時間
	16名	30名	17名	423.5時間
			利用延べ人数	対応延べ回数
			116名	327回
団体保育サービス	託児数	対応件数	延べ協力会員数	延べ活動時間
	利用団体 10団体	221件	743名	1,403.5時間
	就学前 1,728名			
	就学児 3名			

会員相互の助けあいの仕組みとして、家事援助(買い物、掃除等)、団体保育を行った。

③ ふれあいの仲間づくり事業

配食事業

今井・間下・岡谷・下浜・小尾口・新屋敷・小口・西堀・小坂・花岡・三沢・
新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・中村・横川

会食事業 今井・間下・岡谷・下浜・上浜・新屋敷・小口・小井川・西堀・小坂・三沢・ 駒沢・鮎沢・橋原・中屋・中村・横川
地区社協における集いの場事業 新屋敷・小口・小井川・下浜
世代間ふれあい事業 今井・岡谷・上浜・小口・西堀・小坂・橋原

地区社協で行われている事業に対し助成を行っているが、財源の確保が難しくなっている。
今後も事業の在り方や新たな財源の確保などについて検討が必要である。

④ ふれあいいきいきサロン事業

	実施グループ数	実施延べ回数	参加延人数
平成29年度	13グループ	416回	5,956名
平成30年度	10グループ	249回	3,605名

平成31年3月11日(月) ふれあいいきいきサロン交流会 ふれあいいきいきサロン登録団体 5団体10名、その他 3団体7名
--

ふれあいいきいきサロン事業において、近年生涯学習活動と混在している状況が見受けられていた。今後地域の居場所としてのサロン活動をさらに展開していくにあたり、要綱の見直しを行い生涯学習活動にあたる活動(講師に指導を受けている)団体については、ふれあいいきいきサロン事業の対象外とし、各団体に説明を行い9月末までの猶予を持って助成を終了した。

また、ふれあいいきいきサロン交流会をはじめ開催し、登録団体以外にも地域でサロン活動をしている方、興味のある方に声をかけ、17名の参加があった。日頃の活動の様子について等の情報交換を行うことができた。交流会は、次年度以降も継続していきたい。

⑤ 友愛訪問・施設慰問

今井・岡谷・下浜・小尾口・上浜・西堀・新倉・駒沢・鮎沢・橋原・東堀・中屋・横川

⑥ 車いす移送車レンタカー事業 2台使用 利用者 14名 109回

⑦ 車いす貸出し事業(介護保険適用以外) 個人26名 26台・1団体 5台

⑧ 福祉機器リサイクル事業 譲受 2件 譲渡 2件
ポータブルトイレ・介護用ベッド

(2) 介護保険事業・障害福祉サービス事業の充実

① 居宅介護支援事業所(介護支援専門員による支援計画策定等)

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要介護1・2	1,399名	116名	1名増
要介護3・4・5	441名	36名	9名減
合計	1,840名	152名	8名減
介護支援専門員1人当たり(常勤換算5.5名)		27名	2名減
新規契約者数(30年度中)	42名	契約解除者数	31名

② 総合事業支援業務(市受託事業)

介護区分	延べ人数	月平均	前年比(月平均)
要支援1・2	374名	31名	8名減
介護支援専門員1人当たり(常勤換算5.5名)		5名	2名減
新規契約者数(30年度中)	9名	契約解除者数	2名

総合事業への移行による人員の減少はほとんどなかったものの、施設入所などのケースも多く全体的に減少となってしまったが、年度途中から、新しいケアマネを迎え新たな体制となり積極的にケースの受入れを行っている。

③ 特定相談支援事業（障害福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
89名	8名減	74件	前年同	182件	14件減

④ 障害児相談支援事業（障害福祉サービス等利用計画策定等）

利用者数	前年比	計画作成数	前年比	継続支援回数	前年比
20名	4名増	21件	8件増	47件	18件増

今だ児童の受入れ希望などがあるが、現在受入れについては調整を行っている。現在2名の相談員が若干の居宅介護支援（介護保険）のケースも担当しているが、今後は計画相談に専念できる体制の確保と新たな利用者の受入れを検討していく。

⑤ 訪問介護事業所（ホームヘルプサービス）

ア 訪問介護事業

利用者数 要介護1～5	延べ人数	月平均	前年比	
	457名	38名	51名減	
新規利用者数(30年度中)		25名	11名増	
サービス区分	延べ派遣回数	月平均	延べ派遣時間	前年比(時間)
身体介護	2,260回	188回	1,845時間	293時間減
身体・生活	2,309回	192回	2,982時間	365時間減
生活援助	4,027回	336回	3,701時間	110時間増
乗降介助	28回	2回	9時間	16時間減
自費利用	151回	13回	199時間	58時間減
合計	8,775回	731回	8,736時間	622時間減

イ 総合事業

利用者数	延べ人数	月平均		
	281名	23名		
新規利用者数(30年度中)		7名		
サービス区分	延べ回数	月平均	延べ派遣時間	
訪問型独自Ⅰ	681回	57回	666時間	
訪問型独自Ⅱ	598回	50回	568時間	
訪問型独自Ⅲ	265回	22回	255時間	
サービスA	36回	3回	27時間	
合計	1,580回	132回	1,516時間	

ウ 障害福祉サービス事業

利用者数	延べ人数	月平均	前年比	
	615名	51名	前年同	
新規利用者数(30年度中)		9名	前年同	
総合支援給付	延べ回数	月平均	派遣時間	前年比(時間)
重度訪問介護	1回	1回	2時間	215時間減
重度訪問介護(移動介護のみ)	0回	0回	0時間	67時間減
身体介護	601回	50回	647時間	131時間減
家事援助	1,769回	147回	1,885時間	177時間増
通院介助(身体介護あり)	53回	4回	49時間	27時間増
通院介助(身体介護なし)	27回	2回	54時間	2時間減
同行援護(身体介護伴う)	0回	0回	0時間	8時間減
同行援護(身体介護伴わず)	77回	11回	154時間	376時間減
同行援護(新単位)	184回	17回	372時間	372時間増
移動支援(身体介護伴う)	123回	10回	175時間	1時間増
移動支援(身体介護伴わず)	246回	21回	287時間	14時間増
自費利用	437回	36回	6時間	7時間減
合計	3,518回	299回	3,631時間	211時間減

※移動支援含む

介護保険、障害福祉サービス共に新規利用者が増えてきているものの、大きなサービスに繋がっていないため全体的に収入減になっている。新年度に向けて新たな人材を確保することができたので、新たなケースを積極的に受け入れを行っている。

しかしながら、困難ケースも増えてきており職員の精神的な負担も増えてきているため、体調面には特に気を付けるなど職員間のコミュニケーションの充実を図っていきたい。

⑥ 就労継続支援B型事業所「ひだまり作業所」

開所日時	週5日(月～金) 9:00～15:00
開所日数	244日
延べ年間通所者数	3,633名 (見学・お試し利用人数等除く)
1日平均通所者数	14.9名 (昨年に対し1.7名増)
年間在籍通所者実数	24名 (男性 15名 女性 9名)
市町村別内訳	岡谷市 18名 下諏訪町 4名 諏訪 1名 茅野市 1名
30年度新規通所者	5名 (男性 3名 女性2名)
30年度退所者	5名 (男性 2名 女性3名)
30年度通所希望見学者	20名 / 延べ体験日数 60日
30年度開催行事	カラオケ大会・いちご狩り・防災訓練(春・秋)・焼肉会 ボウリング大会・ランチバイキング・チラシ寿司会等

今年度、新たな事業として業者と契約をし清掃作業の施設外就労を行った。一般就労に近い形であり、作業にあたる利用者のスキルアップや就労意欲向上につながった。今後も関係機関などと連携し、新たな作業の確保に力をいれていきたい。

利用者は増加しており、一日の利用者が定員一杯の20名近くになる日もある。また利用希望者も増えてきているため、新たな仕事の確保や作業スペースなどについて検討が必要である。

(3) 子育て支援サービスの充実

① 産後ママサポート事業 (市受託事業)

登録訪問員	8名	内：助産師	4名
利用件数	7件	延べ利用時間	105時間

② 育児ファミリーサポートセンター事業 (保育/市受託事業)

提供会員	23名	利用会員	241名	内 新規登録者	3名
利用件数	90件	利用時間	262.5時間	年間実利用者数	2名
預かり内容	保護者の習い事中の預かり				

提供会員を対象とした研修会を開催し(6回)、サービスの向上を図った。

③ 児童遊園地の新設、遊具等の整備助成事業

今井区・岡谷区・西堀区・横川区・今井地区社協・東堀地区社協

(4) 安全・安心な市民生活をサポートするサービスの充実

① 戦没者慰霊事業

岡谷市遺族会の活動に対し助成を行った。

② 生活困窮者サポート事業

ア 貸付に関する相談

相談件数 (本人来所、窓口対応)	26件
------------------	-----

貸付に関する相談を通して、家計相談や貸付金等の事業も視野に入れ、関係機関と連携し、相談者の生活の自立を支援する活動に取り組んだ。

③ 助け合い資金貸付事業（市社協単独事業）

貸付人員	13名 15件	287,500円
償還取扱件数	18名 45件	319,500円
償還未納金額	26名	589,500円

生活保護受給のつなぎ資金を中心に貸付を行った。滞納者に継続して連絡を取り、相談する中で、小額ずつでも償還するよう促し、滞納額を減らすことができた。

④ 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

緊急小口資金	3名 3件	269,000円
--------	-------	----------

貸付を行うだけでは解決しない複数の生活課題を抱えているケースが多くなってきている。相談を受ける際、丁寧な聞き取りを行い、生活保護、就労支援担当、生活就労支援センター（まいさぼ岡谷市）と連携し、自立につながるよう努めた。

⑤ 資機材等貸出サービス

プロジェクター・スクリーン	4件	テント	2件
綿あめ機器	3件	防災用大鍋	1件
ポップコーン機器	4件	大型遊具等	20件

地域団体や福祉施設などに対し社協管理の資機材や大型遊具等の貸出を行った。地域の祭りやサロン活動などで利用され大変喜ばれており有効活用につながった。

基本目標 4 社会福祉協議会の基盤を強化する

（1）組織の強化

① 新たな事業展開についての調査研究

行政、関係機関等と連携を図る中で、将来を見据えた事業展開について研究した。特に権利擁護事業（成年後見制度支援）については、日常生活自立支援事業を含む、切れ目のない権利擁護の仕組み・体制づくりに向けて、行政と協議を重ねた。

② 職員体制の強化

役員も新体制から2年目となり、更なるガバナンスの強化を図る中、各部門、事業間で連携し、一体的に事業を推進する体制づくりを進めた。また、新規事業や介護事業所の今後の体制を見据え新たな人材の確保に向け取り組んだ。

③ 社会福祉協議会職員の研修

それぞれの業務に関する研修等への積極的に参加をし、事業所ごとにミーティングや勉強会において全体で研修を行い、個々のスキルアップにつなげた。今後は事業所内に限らず社協全体で情報共有できるような体制づくりや社協職員としての考え方、地域福祉についてなど職員同士で気軽に意見交換できる場づくりが必要である。

④ 地域福祉活動計画の点検・評価

事業の内容、要綱等の見直しを行い、次年度の事業展開につなげた。

⑤ 会員の増強

岡谷市社協の役割、会費の使い道等、市民に充分理解されるよう努めた。

⑥ 諏訪ブロック内各社協との連携強化

諏訪圏域6市町村で情報の共有や学習会の開催など連携強化を図っている。また、困難事例のケース検討会、事業や担当者レベルでの学習会の開催など増えてきており、事業の参考となったり、職員の研修の場としても大いに役立っている。

(2) 財源の強化

① 岡谷市社会福祉協議会会費

収納状況

一般会費(1世帯 1,000円)	9,270件	9,237,400円(前年度 9,184件	9,163,500円)
賛助会費(1口2,000円以上)	4,122件	8,588,500円(前年度 4,280件	8,918,170円)
合 計	13,392件	17,825,900円(前年度 13,464件	18,081,670円)

② 赤い羽根共同募金運動

募金方法	件数	実績額(円)	備考
戸別募金	12,570	13,505,189	
街頭募金	2	163,105	
法人募金	588	1,304,530	
学校募金	9	71,342	小学校 5・中学校 3・高校 1
職域募金	6	973,159	
イベント募金	6	157,363	
その他の募金	10	210,448	
合 計	13,191	16,385,136	前年度13,349件 16,287,246円

③ 岡谷市社会福祉協議会基金及び積立金

福祉基金	251,713,527円	準備基金	8,105,782円
ボランティア及び災害活動者遺児育英資金		9,480,611円	
経営安定化積立金		32,932,232円	

④ 福祉基金の受付 20件 1,146,881円

遺志金	12件	670,000円
福祉基金	8件	476,881円

⑤ 物品寄付の受付 68件

使用済み切手	48件	ハガキ・未使用切手等	1件
介護用品	8件	車いす	1件
タオル類	3件	シルバーカー	1件
日用品・雑貨等	2件	大相撲諏訪湖場所チケット	1件
ぬいぐるみ	1件	手芸用品	2件

ご寄付いただいた物品は、必要とする施設や機関、利用者等へ払出し、それぞれに活用した。